

# 2018年度 事業報告書

2018年4月1日から2019年3月31日まで

## I 事業の実施状況（成果）

### 【セミナー・研修事業】

#### 1. 公開セミナー

##### ■ダイバーシティ分野

- ・上期に「女性活躍・ダイバーシティ新任担当者セミナー」を実施。東京で25名、関西で22名が受講。下期には、男性管理職研修を開催したが、受講者は7名にとどまった。

##### ■ハラスメント防止分野

- ・昨年度に引き続き相談担当者基礎編、アドバンス編を中心に開催。
- ・本部では計22回実施。地方での集客が低調なもの、東京での集客が想定以上に伸長し、全体では597名が受講。
- ・関西では、10回実施 210名受講。

#### 2. オーダーメイド研修

##### (1) 受注拡大施策

- ・年間4回、財団の事業案内に加え、時期に合わせたセミナーのチラシをまとめ、これまでの顧客先にDMを送付した。
- ・ダイバーシティ分野ではプログラム紹介デモセミナーを本部で10回、関西8回開催。その後、研修や調査などの提案を行った。このうち、試験的に開催した名古屋では20社26名の参加を得た。
- ・調査やコンサルティングを実施した企業やハラスメント分野の受注企業に対し、ダイバーシティ関連のオーダー研修プログラムの提案を行い、受注につなげた。

##### (2) 受注状況

##### ■ダイバーシティ分野

- ・積極的な営業活動の結果、本部では年間124回のセミナーを受注、計5,246名が受講、関西では147回のセミナーを受注し、計5,370名が受講した。満足度でも

高評価を得ている。

#### ■ハラスメント防止分野

- ・世間の追い風もあってリピート企業、新規企業ともに動きが早く、本部では、年間503件を受注、受講者も35,474名と過去最高を記録した。このうち、キャンパスハラスメント防止研修35校、医療機関・介護施設向け32機関の受注もあり、それぞれのニーズにあった研修を実施できた。
- ・関西では、新規開拓に注力する一方、過去4年間のリピーターに対して、訪問・メール等による個別営業活動を推進し、年間318回のセミナーを受注、計16,539名が受講し、こちらも過去最高の結果となった。

### (3)講師関係

#### 1) 新規講師の開拓

##### ■ダイバーシティ分野

- ・12月にHP上で講師募集したところ、10名の応募があり、書類選考・面接の結果5名に新規講師を委嘱した。さらに、コーチングの専門家1名への委嘱も行った。

##### ■ハラスメント防止分野

- ・認定試験合格者80名のうち講師希望者38名に対し面接、プレゼンチェックを実施し、10名の新規講師を起用。

2017年度に新規採用した講師については、厚生労働省受託事業のセミナーを中心に登壇させるなど育成を図った。

#### 2) 講師研修会

- ・7月末の実施を予定していたが、当日、台風が来襲し、止む無く中止とした。内容としては「一般職の活躍調査」と研修の紹介、「職場のパワーハラスメント防止対策についての検討会の内容」、「相談の手引きの活用方法」等を準備したが、このうち「職場のパワーハラスメント防止対策についての検討会の内容」については成蹊大学法学部法律学科 原昌登教授の講義を動画(60分)撮影し、後日参加予定者に配信した。

### 3) 資料提供

#### ①Q & A集

2017年度に引き続き研修時に行われた質疑応答を収集してQ & Aを作成し、講師宛に2018年5月配布。

#### ②研修用コンテンツ

『キャンパスハラスメント』テキストの配布

#### ③公開セミナーの受講推奨

情報提供するも、受講者は2~3名に留まった。

### (4) コンテンツ開発

#### ■ダイバーシティ分野

- ・講師6名を集め、これまで個別に作成、使用していた「キャリア研修」のコンテンツを集約し、共有して使えるものとして改訂した。

#### ■ハラスメント防止分野

- ・ハラスメント防止セミナーで使える共通コンテンツを作成し、2019年度から講師に配布できるよう準備した。

## 3. 会員制プログラム

### (1) 女性活躍サポート・フォーラム

会員企業は2018年度 94社（前年度末98社 4社減）。

#### 1) 女性のためのエンパワーメント 21世紀塾

- ・「ロールモデル講演」は役員から課長職まで計4人に登壇いただき、キャリアを深く考える機会を提供し、総括としての「局長講話」を実施。
- ・「ネットワークづくり支援」では、前年度同様、24名の小グループ制を採用し、積極的にグループ内での懇親を図る機会を提供。
- ・関西との合同開催を2回行い、新たなネットワーキング構築に貢献。

#### 2) 女性管理職研修

- ・前年度同様、女性管理職により高い視野で活躍していただくために、MBAコースのエッセンスを取り入れた研修を実施。受講者からも高評価を得た。
- ・高木晴夫講師の異動に伴い、新たに慶應義塾大学横田教授を迎え、法政大学高田教授との2名体制で実施。

- ・二日間の集中講義だが、異業種の課長レベルが集まるネットワーキングの場としても有意義な研修となった。

### 3) ダイバーシティ推進責任者会議（人事・ダイバーシティ責任者対象）

ダイバーシティを推進する際に課題となる「転勤制度」「治療と仕事の両立」「シニアの活躍推進」についての討議、企業経営者による「働き方改革」の講演、行政担当者による「働き方改革法案のうち労働時間法制の改正部分の施行内容と留意すべき事項」についての説明等、関心の高いテーマを取り上げ、好評を得た。また、企業経営者の講演にあわせ、サイボウズ株式会社のオフィスツアーを実施した。

## (2) 女性部長のための Next Step Forum

- ・女性役員への育成支援を目的に、企業推薦の女性部長クラスを対象としたフォーラム第5期を運営。19社19名参加。
- ・日本を代表する優れた企業トップとの直接対話や討議を通じ、経営を担う意思と意欲を持たせると同時に、異業種の同等レベルの女性とのネットワークを構築し相互に成長できる環境を提供。

## 4. ハラスメント防止コンサルタント養成・認定

### (1) 養成講座・認定試験

- ・カリキュラムの見直し、講師3名の入れ替えにより講座内容の拡充、レベル向上を図った。
- ・認定試験の受験資格に「産業医」「メンタルヘルス・マネジメント検定1種」を加え、資格の専門性向上、受験者数増加を図った。
- ・社会保険労務士会・産業カウンセラー協会等を中心にDM、メルマガ等の広報を実施し、過去最高の受講者数（215名）、受験者数（312名）を確保。合格者数は80名となった。

### (2) フォローアップ研修

- ・登録者数の増加に伴い3回（東京2回、大阪1回）実施。
- ・講座内容は実務で活かせるよう、裁判例を題材にした事案解決へのアプローチ法及びストレスチェック実施後の職場環境改善活動について学んだ。

## 【相談・助言事業】

### 1. コンサルティング事業

#### ■ダイバーシティ分野

- ・各企業のニーズに応じたテーマ（女性活躍、働き方、全社員のキャリア形成）で、定性（インタビュー）調査と定量（アンケート）調査を実施。調査結果から課題を抽出し、取組み案を提示。経営層への報告等を行った。
- ・企業のプロジェクトの支援や自治体が提供するプログラムへのメンター派遣なども実施した。
- ・従来から実施している財団内の無料相談会に加え、Skype を導入しサービス拡充を図った。

#### ■ハラスメント防止分野

- ・事業開始3年目の「ハラスメントお助け隊」については、社内のハラスメント防止対策の見直し、社内アンケート調査に加え、新たにEラーニング原稿作成・コンプライアンス面談の代行業務を受注し、業務内容の幅が広がった。
- ・「エマージェンシーサービス」については、相談窓口契約、研修実施など他のサービスを利用している企業からの依頼が多く、ハラスメント対策全般を業務範囲とする財団の強みが相談等の依頼につながった。

### 2. ハラスメント相談窓口事業

- ・ハラスメント防止への関心が高まったこともあり、32件の新規受注があり、契約企業数は131社となった。
- ・相談件数の急増(前年比219%)に対応するため、相談員の増員、相談室の拡張工事を行い、2名体制での相談対応を開始した。
- ・前年度から着手していたWEBシステムの改修が完了し、7月から本格的に稼働した。
- ・適正かつ安定的な相談対応を行うため、相談窓口ガイドラインを作成すると共に、相談員研修会を定期開催し、相談員のスキル向上を図った。

## 【情報提供事業】

### 1. 図書・テキスト作成

- ・セクハラ・マタハラ防止、パワハラ防止ポスター3種（2サイズ）の作成。
- ・新版パワーハラスメント裁判例集、セクシュアルハラスメント裁判例集の出版。
- ・「キャンパスハラスメント防止テキスト」を作成。全国の大学にDMを配布し拡販につなげた。
- ・「女性労働の分析 2017年」の作成。販売と同時に賛助会員に配布した。
- ・DVDのデータ販売が4件、成約した。

## 【社会貢献事業】

### 1. 調査研究

- (1) 「50代正社員女性の現状・課題～均等法第一世代(一般職含む)があと20年戦力であり続けるために～」をテーマに、企画委員会を設置し、調査設計、インタビュー、量的調査などを行った。

2019年秋口の発表に向けて報告書をまとめる予定。

- (2) ダイバーシティ分野のコンサルティング事業において、標準値を明らかにするために、女性正社員対象の女性活躍状況調査をまとめ、6月度にメディア向けの発表を行い主要紙・WEBなどの掲載に繋げた。

本調査は、2019年度以降も「標準調査」として継続実施する予定。

### 2. 働く女性の交流会

- ・「明日のビジネスを担う女性たちの交流会」を、福島・宇部・大阪・東京で実施。
- ・働く女性のロールモデルとなる地元企業の役員・管理職をパネリストとして迎え、パネルディスカッションを実施。福島、宇部では基調講演も行い、キャリアアップへの更なるモチベーションを上げる機会を提供。
- ・パネリスト参加による懇親会も交流の貴重な機会となった。

## II 財団運営

### 1. 業務効率化の推進、生産性の向上

- ・2018年4月より顧客・販売管理システムが本稼働した。期始においては、本部・関西事務所双方で業者と連携し、習熟に向けた職員研修会を実施した。
- また、年間を通じ、システムの定着・作業効率の向上のため、疑問点の解消や改善の取り組みを継続的に実施した。

- ・システム導入の効果測定の1つとして「事業収益/総労働時間」を見てみると、  
2017年度： 333,658千円/59,440時間=5.6千円  
2018年度： 369,604千円/59,438時間=6.2千円  
と111%の伸展を見た。
- ・テレワークの利便性を一層高めるため、リモートアクセスサービス「マジックコネクト」をテスト導入した（2019年4月から本格運用開始）。

## 2. 広報力の強化

- ・伊岐会長を始め、事務局長・職員がメディアに登場する機会が増加。（新聞・テレビ・月刊誌・業界誌・地方情報誌等多数。なお、会長・事務局長に関しては、活動報告済。）
- ・メディア懇談会を6月19日に実施し、会長交代の周知も併せて行った。
- ・DM発送の強化を図り、オーダーメイド研修や新刊本の受注に繋げた。

## 3. 賛助会員・駐在代表

- ・財団の提供サービス(特に、ハラスメント相談窓口、オーダーメイド研修)の新規顧客企業には、必ず賛助会員制度を案内。計21社が新規会員に加盟。
- ・賛助会員で受注回数が多い地方銀行数行を中心に、財団と共催で各行の顧客向け無料公開セミナーを開催する提案活動を行った。課題認識を共有化することは出来たが具体化には至らず、「地方」「中小企業」をキーワードとした新規顧客の開拓、賛助会員の獲得、既存の賛助会員へのサービス提供、駐在代表の活性化等は継続案件として取り組む必要がある。

## 4. 職員の専門性の向上

- ・グローバルな視点からのダイバーシティについて、講師を招き職員研修を11月19日に実施。
- ・労働大学を6名受講。その他、キャリアコンサルタント養成講座、人事制度研究会等、自己啓発に熱心な職員に対して業務関連の知見を深める機会を提供した。

## 5. 職員の処遇改善、福利厚生制度の充実

- ・マジックコネクトをテスト導入した（2019年4月から本格導入し、「在宅型」テレワークを週3回まで実施可能とした）。

### Ⅲ 厚生労働省受託事業

#### 「働きやすい職場環境形成事業」

##### 1. パワハラ対策取組支援セミナー

- ・企業の人事・労務管理担当者等を対象とするセミナーを全都道府県庁所在地にて年59回実施。
- ・平均集客数52名、アンケートによる満足度80%。

##### 2. パワハラ対策専門家養成研修

- ・企業に対してパワハラ対策の導入を継続的に支援できる人材養成を目的に専門家養成研修を実施。全国主要8都市11回実施。
- ・平均集客数44名、アンケートによるセッション毎の満足度80～89%。
- ・受講申込は、昨年度同様、募集サイト開設後、ほぼ数日で予定数に達し、盛況であった。



## 2018年度 事業の実施に関する事項

事業名	内容	テーマ	2018年度		2017年度	
			実施回数等	人数等	実施回数等	人数等
セミナー 事業	1. 公開セミナー	<b>ダイバーシティ</b>				
		ダイバーシティ・女性活躍推進新任担当者セミナー	2回	32人	1回	19人
		同上（関西）	1回	22人	1回	18人
		キャリアデザインセミナー				
		<b>計</b>	<b>3回</b>	<b>54人</b>	<b>2回</b>	<b>37人</b>
		<b>ハラスメント</b>				
		相談担当者研修	17回	483人	11回	320人
		同上（関西）	9回	195人	4回	145人
		パワハラ防止とメンタルヘルスセミナー	2回	36人	2回	31人
		管理職向け指導法	2回	60人	2回	60人
	同上（関西）	1回	15人	2回	35人	
	キャンパスハラスメントセミナー	0回		1回	16人	
	同上（関西）	0回		1回	14人	
	アンガーマネジメントセミナー	1回	18人	1回	21人	
	<b>計</b>	<b>32回</b>	<b>807人</b>	<b>24回</b>	<b>642人</b>	
	<b>合計</b>	<b>35回</b>	<b>861人</b>	<b>26回</b>	<b>679人</b>	
	2. オーダーメイド セミナー	<b>ダイバーシティ</b>	<b>271回</b>		<b>268回</b>	
		女性活躍推進研修	83回		57回	
		女性部下育成管理職研修	71回		61回	
		キャリアデザイン研修	33回		37回	
		リーダーシップ研修	15回		21回	
		働き方改革研修	29回		33回	
		産休前・育休者、職場復帰者研修			11回	
		メンター研修	5回		4回	
		仕事と介護の両立研修	16回		3回	
		ワークライフバランス研修			1回	
		ダイバーシティセミナー			12回	
その他		19回		28回		
<b>ハラスメント</b>		<b>821回</b>		<b>715回</b>		
セクハラ・マタハラ防止研修		47回		35回		
パワーハラスメント防止研修		131回		87回		
セクハラ・パワハラ防止研修				384回		
ハラスメント相談対応研修		54回		50回		
キャンパスハラスメント防止研修		41回		54回		
ハラスメント全般		513回		50回		
メンタルヘルス研修		10回		18回		
その他	25回		37回			
<b>合計</b>	<b>1,092回</b>		<b>983回</b>			

2018年度 事業の実施に関する事項

事業名	内容	テーマ	2018年度		2017年度		
			実施回数等	人数等	実施回数等	人数等	
	3. 会員制プログラム	女性活躍サポート・フォーラム 参加企業数	94社		98社		
		女性部長のためのNext Step Forum 参加企業数	19社		23社		
	4. ハラスメント防止コンサルタント養成・認定	養成講座 東京会場 2018年9月15・16日 大阪会場 2018年9月8・9日 認定試験(2018年11月11日 東京、大阪同時開催) フォローアップ研修(東京2回、大阪1回)		215人 129人 86人 1回 3回		194人 125人 69人 1回 3回	
相談助言事業	1. コンサルティング事業	ダイバーシティ分野 ハラスメント防止分野	10件 25件		25件 29件		
	2. 相談窓口事業	契約企業 相談件数	131社 643件		107社 294件		
社会貢献事業	1. 調査研究						
	2. 働く女性の交流会	福島 2018年9月15日 宇部 2018年11月12日 大阪 2018年10月23日 東京 2019年2月27日 計		73人 94人 191人 125人 483人		76人 83人 178人 164人 501人	(岐阜) (福岡)
出版事業	書籍等の開発・作成・販売	新刊・新作 「セクハラ・マタハラ防止」、「パワハラ防止」ポスター 「キャンパスハラスメント防止ハンドブック」 「女性労働の分析 2017年」 「わかりやすい セクシュアルハラスメント 新・裁判例集」 「わかりやすい パワーハラスメント 新・裁判例集」		4,490部 1,447部 2,070部 572部 627部			
		販売 「誰もがイキイキと働ける職場づくりのために」 「パワハラを恐れて部下を叱れない上司のための部下育成ハンドブック」 「職場のハラスメント 相談の手引き」 「職場におけるセクシャルハラスメント・パワーハラスメント防止のために 新・相談対応マニュアル」 「13のケースから学ぶセクハラ問題解決事例集」		15,028冊 5,815冊 4,049冊		16,212冊 2,933冊 2,052冊	
受託事業	パワハラ対策取組支援セミナーの開催	ハラスメント防止支援セミナー	59回	3,025人	62回	2,727人	
		専門家養成研修	11回	489人	9回	353人	

## 2018年度 事業の実施に関する事項

事業名	内容	テーマ	2018年度		2017年度	
			実施回数等	人数等	実施回数等	人数等
セミナー 事業	1. 公開セミナー	<b>ダイバーシティ</b>				
		ダイバーシティ・女性活躍推進新任担当者セミナー	2回	32人	1回	19人
		同上（関西）	1回	22人	1回	18人
		キャリアデザインセミナー				
		<b>計</b>	<b>3回</b>	<b>54人</b>	<b>2回</b>	<b>37人</b>
		<b>ハラスメント</b>				
		相談担当者研修	17回	483人	11回	320人
		同上（関西）	9回	195人	4回	145人
		パワハラ防止とメンタルヘルスセミナー	2回	36人	2回	31人
		管理職向け指導法	2回	60人	2回	60人
	同上（関西）	1回	15人	2回	35人	
	キャンパスハラスメントセミナー	0回		1回	16人	
	同上（関西）	0回		1回	14人	
	アンガーマネジメントセミナー	1回	18人	1回	21人	
	<b>計</b>	<b>32回</b>	<b>807人</b>	<b>24回</b>	<b>642人</b>	
	<b>合計</b>	<b>35回</b>	<b>861人</b>	<b>26回</b>	<b>679人</b>	
	2. オーダーメイド セミナー	<b>ダイバーシティ</b>	<b>271回</b>		<b>268回</b>	
		女性活躍推進研修	83回		57回	
		女性部下育成管理職研修	71回		61回	
		キャリアデザイン研修	33回		37回	
		リーダーシップ研修	15回		21回	
		働き方改革研修	29回		33回	
		産休前・育休者、職場復帰者研修			11回	
		メンター研修	5回		4回	
		仕事と介護の両立研修	16回		3回	
		ワークライフバランス研修			1回	
		ダイバーシティセミナー			12回	
その他		19回		28回		
<b>ハラスメント</b>		<b>821回</b>		<b>715回</b>		
セクハラ・マタハラ防止研修		47回		35回		
パワーハラスメント防止研修		131回		87回		
セクハラ・パワハラ防止研修				384回		
ハラスメント相談対応研修		54回		50回		
キャンパスハラスメント防止研修		41回		54回		
ハラスメント全般		513回		50回		
メンタルヘルス研修		10回		18回		
その他	25回		37回			
<b>合計</b>	<b>1,092回</b>		<b>983回</b>			

2018年度 事業の実施に関する事項

事業名	内容	テーマ	2018年度		2017年度		
			実施回数等	人数等	実施回数等	人数等	
	3. 会員制プログラム	女性活躍サポート・フォーラム 参加企業数	94社		98社		
		女性部長のためのNext Step Forum 参加企業数	19社		23社		
	4. ハラスメント防止コンサルタント養成・認定	養成講座 東京会場 2018年9月15・16日 大阪会場 2018年9月8・9日 認定試験（2018年11月11日 東京、大阪同時開催） フォローアップ研修（東京2回、大阪1回）		215人 129人 86人 1回 3回		194人 125人 69人 1回 3回	
相談助言事業	1. コンサルティング事業	ダイバーシティ分野 ハラスメント防止分野	10件 25件		25件 29件		
	2. 相談窓口事業	契約企業 相談件数	131社 643件		107社 294件		
社会貢献事業	1. 調査研究						
	2. 働く女性の交流会	福島 2018年9月15日 宇部 2018年11月12日 大阪 2018年10月23日 東京 2019年2月27日 計		73人 94人 191人 125人 483人		76人 83人 178人 164人 501人	(岐阜) (福岡)
出版事業	書籍等の開発・作成・販売	新刊・新作 「セクハラ・マタハラ防止」、「パワハラ防止」ポスター 「キャンパスハラスメント防止ハンドブック」 「女性労働の分析 2017年」 「わかりやすい セクシュアルハラスメント 新・裁判例集」 「わかりやすい パワーハラスメント 新・裁判例集」 販売 「誰もがイキイキと働ける職場づくりのために」 「パワハラを恐れて部下を叱れない上司のための部下育成ハンドブック」 「職場のハラスメント 相談の手引き」 「職場におけるセクシャルハラスメント・パワーハラスメント防止のために 新・相談対応マニュアル」 「13のケースから学ぶセクハラ問題解決事例集」		4,490部 1,447部 2,070部 572部 627部 15,028冊 5,815冊 4,049冊		- - 16,212冊 2,933冊 2,052冊	
受託事業	パワハラ対策取組支援セミナーの開催	ハラスメント防止支援セミナー	59回	3,025人	62回	2,727人	
		専門家養成研修	11回	489人	9回	353人	